

# 文化振興の拠点となる「文化ゾーン」の整備～公立文化施設の再活用～に対する支援

【担当省庁】総務省、文部科学省、文化庁

## 奈良県における取組



公共施設等適正管理推進事業債の事業期間延長等についてご配慮いただきましたこと、心より感謝。

## 1. 文化活動の振興

### (1) 県内民間音楽団体との連携

奈良県内にオーケストラのための株式会社として、初めて設立された**Japan National Orchestra株式会社(JNO)**と連携協定を締結。

代表取締役を務める**世界的ピアニストの反田恭平氏**を県の文化政策顧問に迎え、今後一層文化活動の振興に取り組んでいく。

### (2) 奈良県立ジュニアオーケストラの設立

奈良県知事の荒井正吾を団長として、2011年6月12日に結成。

**他に類をみない県立のジュニアオーケストラ**で、毎週末奈良県文化会館において練習に励み、定期演奏会をはじめ有名な演奏家との共演も多数経験する中、**世界的な音楽家を目指す**団員が出て来ている。

### (3) 「ムジークフェストなら」などの開催

**「音楽で、奈良を元気に」という思い**から「ムジークフェストなら」を2012年にスタート。社寺や音楽ホール、街中のカフェなど県内各地の様々な場所でコンサートを開催。また、障がいのあるなしや、世代を問わず共に楽しみ、絆を深める「みんなでたのしむ大芸術祭」も発展的に開催している。

## 2. 文化振興の拠点となる文化ゾーンの整備

奈良県における文化活動を一層振興し、地域活性化を図るための整備

世界遺産に隣接する奈良公園のゲートウェイ空間に位置する奈良県文化会館・美術館及びその周辺地域を**文化的雰囲気**が**一体的に醸成される「文化ゾーン」**と捉え、**文化振興の拠点施設を整備**

### 【奈良県文化会館】

**「音楽系を軸とした多彩な舞台芸術の殿堂」として増築・改修整備**

- ・「音にこだわる」をテーマとした音楽ホールの整備(増築)
- ・音楽ホール機能に付随する練習用スタジオ、楽屋等の整備(改修)
- ・国際ホールの刷新(改修) 等



奈良県とJNOの連携協定締結式  
(R4. 2. 28)

# ○文化ゾーン整備における公立文化施設の再活用

■ 「文化ゾーン」の整備は、**既存の奈良県文化会館の改修等により、効率的に実施**

■ 文化会館は開館後約50年を経過し、老朽化が著しく、耐震性が不十分  
奈良県文化会館1968(昭和43)年竣工

■ 「文化ゾーン」整備においては、**文化会館の機能拡充を行い、地域のにぎわい創出を図るとともに、耐震補強、長寿命化改修、ユニバーサルデザイン化も併せて実施**



文化会館再整備イメージ  
令和3年～4年基本・実施設計  
令和5年～ 着工予定

	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
文化会館整備 スケジュール	設計					
			工事			

## 国にお願いすること

**既存施設を活用した地域のにぎわい創出や地域活性化に資する文化振興の拠点施設の再整備に対する、地域活性化事業債の適用にご配慮をお願いしたい。**